

中小企業景況調査報告書

令和4年10～12月期実績
令和5年1～3月期見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和4年12月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9～ +10.0	 まあまあ +9.9～ ▲9.9	 不振 ▲10.0～ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和4年10～12月期を対象とし、調査時点は令和4年11月15日とした。
令和5年1～3月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・肝付町・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 210業
製造業：44企業 建設業：30企業 小売業：59企業 サービス業：77企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
3年10月～12月期	 ▲14.7	 ▲6.7	 ▲30.0	 ▲26.6
4年1月～3月期	 ▲24.3	 0.0	 ▲43.1	 ▲48.0
4年4月～6月期	 ▲29.6	 ▲6.7	 ▲25.4	 ▲26.7
4年7月～9月期	 ▲34.1	 ▲6.7	 ▲33.9	 ▲23.4
4年10月～12月期	 ▲11.4	 ▲3.3	 ▲23.7	 ▲14.3
来期見通し(1～3月期)	 11.3	 ▲3.4	 ▲22.0	 ▲17.1

総合(業況)

前年同期(令和3年10月～12月期)と比較した今期(令和4年10月～12月期)の業況は、製造業▲11.4(前年同期比3.3ポイント改善)、建設業▲3.3(前年同期比同3.4ポイント改善)、小売業▲23.7(前年同期比6.3ポイント改善)、サービス業▲14.3(前年同期比12.3ポイント改善)となった。

今期については、新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着き、少しずつ回復し全業種改善となった。また10月から始まった全国旅行支援もあり、売上は上がっているものの、値上げによる原材料の上昇が大きな課題となっており、加えて従業員の確保難、最低賃金のアップなどで小売業・サービス業は採算が厳しいものとなっている。

また前期(令和4年7月～9月期)と比較すると、製造業22.7ポイント・建設業3.4ポイント・小売業10.2ポイント・サービス業9.1ポイント、全業種改善となった。

なお、来期(令和5年1月～3月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業22.7ポイント改善・建設業は0.1ポイント悪化・小売業1.7ポイント改善・サービス業2.8ポイント悪化となる見通しであり、新型コロナウイルスの第8波が到来している中、原材料費の価格上昇に伴い、価格の改定をいつどう転嫁するかなど課題が山積みであり、中小企業は依然として厳しい状況にある。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 44 企業

調査対象企業内訳：食料品(20)，飲料・飼料・たばこ(5)，一般機械器具(2)，家具・装備品(3)，木材・木製品(3)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(4)，金属製品(3) 窯業・土石製品(1)，その他(2)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年10月～12月期		▲17.5		▲30.0		▲22.0		▲14.7
4年1月～3月期		▲23.9		▲35.7		▲19.0		▲24.3
4年4月～6月期		▲20.4		▲37.2		▲9.1		▲29.6
4年7月～9月期		▲16.3		▲45.4		▲11.4		▲34.1
4年10月～12月期		4.6		▲6.9		▲9.1		▲11.4
来期見通し(1～3月期)		4.6		▲7.0		▲13.6		11.3

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・設備や施設が古くなっているが、投資する余裕はなく、インボイスが始まると消費税のことも考えなければならない。
(金属線製品製造業)
- ・コロナ感染者数の減少により、飲食店の来店客数の回復が見られ、受注が増加傾向にあり、商談会や営業活動の再開により新規販路も獲得している。その一方、原材料の高騰により利益幅が減少している。
(蒸留・混成酒製造業)
- ・材料の高騰に加え、島外に出す際の送料の負担も大きい。
(その他金物類製造業)

経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	53.7%	(前期比 +1.2)
第2位 生産設備の不足・老朽化	14.6%	(前期比 +7.1)
第3位 需要の停滞	7.3%	(前期比 -7.7)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)，職別工事業(6)，設備工事業(3)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
3年10月～12月期		▲16.6		▲20.0		▲10.0		▲6.7
4年1月～3月期		0.0		▲13.3		▲3.3		0.0
4年4月～6月期		▲6.7		▲16.7		▲3.3		▲6.7
4年7月～9月期		10.0		▲23.3		0.0		▲6.7
4年10月～12月期		6.6		▲16.7		▲10.0		▲3.3
来期見通し(1～3月期)		3.3		▲23.3		▲10.0		▲3.4

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・資材高騰が続き、年度毎の増減が著しく、事業量確保に苦慮していたが、豪雨や台風14号災害(9/18)関連で復旧増が見込まれる。ただ発注が同時期に集中すると人材不足のジレンマとなる。
- ・毎月毎月、資材及びその他の高騰が続き、契約後着工期間の長いものが顧客の都合で着工が伸びて契約金を変更できない物件のしわ寄せがある。有休の促進により、人手不足で思うように売上が伸びていない。
(一般建築土木工事業)
- ・材料の値上がりもあるが、建物のリフォームや新築が入ることも多くなっている。
(内装工事業)

経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	66.7%	(前期比 +14.7)
第2位 従業員の確保難	16.7%	(前期比 -11.3)
第3位 熟練技術者の確保難	8.3%	(前期比 +4.3)

【小売業】 有効回答数 59 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(24)，各種商品(4)，織物・衣服・身の回り品(6)，家具・建具(4)
自動車・自転車小売業(1)，その他(20)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年10月～12月期		▲33.4		▲30.5		▲20.3		▲30.0
4年1月～3月期		▲48.3		▲43.3		▲27.6		▲43.1
4年4月～6月期		▲20.4		▲32.8		▲22.4		▲25.4
4年7月～9月期		▲22.1		▲33.9		▲20.3		▲33.9
4年10月～12月期		▲20.4		▲28.8		▲18.6		▲23.7
来期見通し(1～3月期)		▲22.0		▲25.4		▲11.8		▲22.0

＜調査企業が感じている景気判断コメント＞

- ・包材の仕入単価が日に日に上がっていき、なるべく包材を使用しないように工夫している。ただ、クリスマス時期はどうしても必要なので、なんとか調整して抑えていきたい。(菓子製造小売業)
- ・仕入単価がこれまでに比べて上がってきた。特に海外の商品は仕入れられない位、上昇している。(男子服小売業)
- ・乳価引上げにより仕入単価が上昇した為、売価を上げざるを得ない。それにより宅配顧客の解約が10軒程度あった。また、ガソリン代の上昇、諸経費も上がっている。(牛乳小売業)

経営上の問題点

- 第1位 仕入単価の上昇 40.4% (前期比 +12.1)
第2位 需要の停滞 19.2% (前期比 +0.3)

【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)，飲食店(24)，自動車整備業(11)，宿泊業(9)
運送業(2)，その他(12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年10月～12月期		▲22.1		▲35.1		▲22.1		▲26.6
4年1月～3月期		▲49.3		▲45.5		▲28.6		▲48.0
4年4月～6月期		▲15.6		▲37.7		▲17.1		▲26.7
4年7月～9月期		▲15.6		▲31.2		▲24.7		▲23.4
4年10月～12月期		▲6.5		▲36.4		▲13.1		▲14.3
来期見通し(1～3月期)		▲0.0		▲26.0		▲11.7		▲17.1

＜調査企業が感じている景気判断コメント＞

- ・材料費の高騰がこのまま続くと宿泊料金を上げざるを得ない。全国旅行支援が始まったが、12月で終了するので、遅かれ早かれ通常のお客様を取り戻さなくてはならないので、今回は全国旅行支援の登録をせず通常に戻す努力をしたい。(簡易宿泊所)
- ・規模縮小であるが、結婚式等が行われるようになり衣類のクリーニングが少し増えるようになった。(クリーニング業)
- ・タイヤの仕入の上昇による単価のUPで、交換本数の低下。全メーカー全ラインアップ値上がりによる需要の停滞。作業のある日になぜか重なる。そうすると外部にお願いするしかなくなる。悪循環になっている。(自動車整備業)

経営上の問題点

- 第1位 材料等仕入単価の上昇 37.5% (前期比 +6.5)
第2位 需要の停滞 11.1% (前期比 -11.4)
第3位 店舗施設の狭隘・老朽化 9.7% (前期比 +4.1)

全産業【鹿児島県】

2022年10月期～12月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	210	27.6	38.6	33.8	-6.2	210	21.9	51.4	26.7	-4.8
売上（加工）単価・客単価	179	22.3	58.7	19.0	3.4	180	14.4	68.9	16.7	-2.2
売上（加工）数量	44	29.5	45.5	25.0	4.5	44	20.5	61.4	18.2	2.3
客数	59	10.2	47.5	42.4	-32.2	59	10.2	50.8	39.0	-28.8
利用客数	76	22.4	44.7	32.9	-10.5	76	21.1	57.9	21.1	0.0
資金繰り	209	4.8	77.0	18.2	-13.4	210	5.2	77.6	17.1	-11.9
輸出額	18	0.0	94.4	5.6	-5.6	19	5.3	84.2	10.5	-5.3
受注（新規契約工事）額	30	36.7	40.0	23.3	13.3	30	13.3	56.7	30.0	-16.7
原材料・商品等仕入れ単価	209	79.4	19.6	1.0	78.5	209	68.4	29.2	2.4	66.0
原材料在庫数量	44	6.8	77.3	15.9	-9.1	44	2.3	86.4	11.4	-9.1
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	59	54.2	32.2	13.6	40.7	59	45.8	42.4	11.9	33.9
商品・商品在庫数量	102	2.0	84.3	13.7	-11.8	103	2.9	82.5	14.6	-11.7
採算（経常利益）	209	6.7	61.2	32.1	-25.4	209	6.7	65.1	28.2	-21.5
従業員（含臨時・パート）	188	6.4	82.4	11.2	-4.8	187	3.7	73.8	3.7	0.0
外部人材（請負・派遣）	116	1.7	94.0	4.3	-2.6	118	3.4	93.2	3.4	0.0
設備操業率	42	11.9	71.4	16.7	-4.8	42	7.1	85.7	7.1	0.0
引合	73	21.9	61.6	16.4	5.5					0.0
受注・契約残	73	12.3	75.3	12.3	0.0					0.0
業況（自社）	210	13.3	58.6	28.1	-14.8	208	9.6	70.2	20.2	-10.6

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	210	29.0	43.8	27.1	1.9					
売上（加工）単価・客単価	180	21.1	63.3	15.6	5.6					
売上（加工）数量	44	22.7	59.1	18.2	4.5					
客数	59	13.6	50.8	35.6	-22.0					
利用客数	76	22.4	47.4	30.3	-7.9					
資金繰り	210	8.1	76.2	15.7	-7.6					
業況（自社）	208	13.5	67.3	19.2	-5.8	202	11.4	65.3	23.3	-11.9
受取手形期間	46	2.2	95.7	2.2	0.0	46	2.2	95.7	2.2	0.0
長期資金借入難度	175	5.7	87.4	6.9	-1.1	175	4.0	88.0	8.0	-4.0
短期資金借入難度（含手形割引）	160	5.0	90.0	5.0	0.0	161	3.7	89.4	6.8	-3.1
借入金利	175	3.4	91.4	5.1	-1.7	175	3.4	93.1	3.4	0.0

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	210	13.3	56.2	30.5	-17.1
生産に対する原材料在庫	43	0.0	86.0	14.0	-14.0
売上に対する製品在庫	102	4.9	89.2	5.9	-1.0
採算（経常利益）	210	18.1	62.4	19.5	-1.4
引き合い	74	14.9	64.9	20.3	-5.4
生産設備	43	0.0	79.1	20.9	-20.9
従業員（含臨時・パート）	198	0.5	82.3	17.2	-16.7